

【大昔の暮らしを探ろう】 教p. 74～p. 77 資p. 32～p. 39 1

1 めあてをノートに書く。

大昔の人々はどのような暮らしをしていたのだろう。

2 本文を読む。

3 ア～オの資料を見て、キーワードをノートに写す。キーワードについて調べる。

- ・三内丸山遺跡 (残っているもの)
- ・縄文^{じょうもん}土器 (模様や形・見つけられた場所)
- ・矢じり (素材・形・使い方)
- ・土偶 (素材・形・使い方・目的)
- ・人々の食べ物(縄文時代) (いつ、どうやってどんなものを食べていたのか)

4 75ページの資料【狩りや漁をしていたころの様子】を見て、気付いたことや考えたことをノートにまとめる。

- ・季節はいつだろう
- ・人々は何をしているだろう
- ・どんな建物や道具があるだろう
- ・何のための作業だろう
- ・何に使われたのだろう
- ・次のページの想像図と比べてみよう。人々の暮らしはどのように違うのだろう。

5 76ページの資料【米づくりが広まったころの様子】を見て、気付いたことや考えたことをノートにまとめる。

- ・人々は何をしているだろう
- ・どんな建物や道具があるだろう
- ・縄文時代とちがうところはどこだろう
- ・縄文時代と似ているところはどこだろう
- ・変化したのは、なぜだろう

6 学習のまとめを次の文に続く形で、今日の学習をまとめる。

下のキーワードについて自分の言葉でお家の人に説明する。

【狩り・漁・採集・土器・遺跡・縄文時代・米作り】

大昔の人々は、

暮らしをしていた。



インターネットを使える人は、「NHK for School」というHPにアクセスし、[動画クリップセレクション]⇒[小学校社会編]⇒[小6]⇒[我が国の歴史上の主な事象]⇒[ア 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による国土の統一]という順に進んでいくと、関係する資料や実際のものや様子が動画で見られます。今週の課題を進めるのに役立ちます！！



【巨大古墳と大王】 教p. 84~p. 85 資p. 42~p. 43 4

1 めあてをノートに書く。

古墳の規模や広がりから、どのようなことがわかるだろう。

2 本文を読む。

3 ア~キの資料を見て、キーワードをノートに写す。キーワードについて考える。

- ・大仙古墳 (場所・形・大きさ・時期)
- ・豪族
- ・はにわ (場所・種類)
- ・古墳の分布や数

- ・江田船山古墳 (場所・出土したもの)
- ・稲荷山古墳 (場所・出土したもの)

4 「学びのてびき」を見て、古墳の広がりや出土品から考えたことをノートにまとめる。

- ・どのように古墳が集中しているだろう
- ・古墳が集中している地域があるのはなぜだろう
- ・出土品からどんなことがわかるだろう。

5 学習のまとめを次の文に続く形で、今日の学習をまとめる。

下のキーワードについて自分の言葉でお家の人に説明する。

【古墳・大和朝廷】

古墳の規模や広がりから、

のようなことがわかる。

【学習問題をたしかめよう】 教p74~p. 88 資p. 32~p. 45 5

1 めあてをノートに書く。

大昔の人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろう。

2 ●学習した時代をたしかめよう。 を読んで、()の内容を教科書に書き込む。

3 ●学習した三つの時代の移り変わりを確かめよう。 を読んで、()の内容を教科書に書き込む。

4 1~4時間目の学習をふまえて、次の文に続く形で学習してわかったことや気付いたことをノートにまとめる。(ヒントになるキーワードを使うといいよ!)

【縄文・弥生・狩りや漁・採集・米作り・古墳・大和朝廷・渡来人・遺跡・土偶・はにわ・豪族・食物】

大昔の人々の暮らしは、